

要人往来

2012年の日本人出国者数が過去最高の1849万人を記録しました。JATAを訪ねられる要人の方々も日本市場の底力に驚かれています。今年はますます日本市場に注目が集まることでしょう。



ゲオルギ・ヴァセイレフ
駐日ブルガリア特命全権大使



デアアンドブレフ・ブルガリア経済エネルギー観光大臣から
菊間会長に記念品の贈呈



アズラン・マレーシア政府観光局東京事務所所長(中央左)を囲んで



マルコス・ロドリゲス駐日キューバ(特命全権大使)(左)

ブルガリア観光大臣を表敬訪問 観光促進について意見交換

ブルガリア 12月14日(金)

JATA菊間会長らがデアアンドブレフ・ブルガリア経済エネルギー観光大臣を表敬訪問。デアアンドブレフ大臣は「ブルガリアにはバラやワインに加えて、ユネスコ世界遺産やスパリゾート、新しく発見された遺跡など、多様な観光素材が多く、日本人観光客を引き寄せるポテンシャルがあります」と説明したのに対し、菊間会長は、「ここ数年、日本人観光客は中央・東ヨーロッパへの興味が深まり、今後バルカン半島の国々への観光客が増えるのではないかと考えています。観光素材が豊富なブルガリアは観光促進を行う最もよいタイミングだと思います」と応えました。

国際観光見本市へのJATA視察団の派遣を要請 キューバ 12月18日(火)

マルコス・ロドリゲス駐日キューバ特命全権大使

JATA菊間会長らを訪問し、キューバ政府の観光開発策について話されました。「現在キューバ政府は国際観光の開発に取り組んでおり、インバウンド・ツーリズムのために宿泊施設やさまざまなインフラを整備しています。今後、特に日本からの観光客を増やしていきたいのでご協力をお願いしたい」。また、2013年5月7日～10日に行われるキューバ国際観光見本市(FIT Cuba)への参加、そしてJATA視察団の派遣を要請されました。

菊間会長らは、「キューバへの日本人観光客を増やすために、日本で提供されているツアーを増加させたい。旅行会社を対象にしたセミナーや、一般消費者のために、メディアでのプロモーションに取り組んでいただければ、日本からの観光客の増加が期待できます」などと意見交換しました。

チャーター便就航も視野に観光客誘致を推進

ブルガリア 1月9日(水)

ゲオルギ・ヴァセイレフ駐日ブルガリア特命全権大使

駐日ブルガリア特命全権大使ゲオルギ・ヴァセイレフ閣下がJATA本部を訪問し、中村理事長らと懇談されました。「かつて7つの文明が栄えた国であるブルガリアでは現在でも豊富な文化遺産やスパリゾート、またバラ祭りなどの無形遺産といった観光素材が存在しております。2014年は日本・ブルガリア外交関係再開55周年の年ですから、チャーター便の就航を始め、日本からの観光客増加に繋がる活動を進めていきたい」

中村理事長らは、「ブルガリア政府のサポートをいただき嬉しく思っています。日本人は個人旅行というより、団体旅行に参加しますから、旅行会社を対象に、ブルガリアに関する詳しい情報を提供していただきたい。加えて、チーム・ヨーロッパ事業に参加していただければ日本人観光客の増加が期待できるでしょう」と応えました。

航空座席の供給増など意見交換

マレーシア 1月18日(金)

アズラン・マレーシア政府観光局東京事務所所長

観光促進におけるJATAの協力に対して、お礼状を渡されました。菊間会長はマレーシア政府観光局の日頃の協力に謝意を述べるとともに、「今後日本からの観光客を増加させるためには、観光促進を行い、航空座席供給を増やす必要があります」と指摘。アズラン所長は「日本・マレーシア間の航空座席供給を増加させるべく、直行便だけではなく、アジア経由のオプションを増やせば日本人の観光客の拡大が期待できると思います。マレーシア政府観光局は、シニア層、レディース層、学生層などを対象としたPRを行っていく予定です」などと応じました。